

# 第3回定例会は9月4日（月）から

次回の第3回定例会は9月4日（月）午前10時より開催される予定です。是非、議場にお越しいただき、市議会を身近に感じていただければ幸いです。傍聴の際、手話通訳を希望される方は、傍聴を希望する2日前までにお申し込みを。車いす用の席もございます。

【府中市議会インターネット中継】  
http://www.fuchu-city.stream.jfit.co.jp  
本会議や一般質問などを生中継でご覧いただけます。スマートフォンやタブレットではご利用いただけません。

**【第3回定例会（予定）】**

- 9月4日（月）本会議（委員会付託）
- 5日（火）本会議（一般質問）
- 6日（水）本会議（一般質問）
- 12日（火）建設環境常任委員会
- 14日（水）再開発対策特別委員会
- 20日（水）本会議（委員会審査報告等）
- 21～27日（水）決算特別委員会
- 29日（金）本会議（最終日）

※上記は2017年8月1日現在の予定です。実際の日程が変動する場合がございます。

# 市議会インターネット中継がより鮮明に

市議会では、今年6月より議場内にあるカメラを新たに設置し、インターネット中継での映像をより鮮明にいたしました。

これは、議長の諮問機関である議会改革検討委員会で各会派から選出された委員が検討し予算化した結果でもあります。

市議会の様子を、より市民に分かりやすくするため、今後も更なる議会改革に取り組んでまいります。皆様からのお声をお待ちしております。



稲津 憲護 議員



## いなづ 稲津けんご

【プロフィール】

1968年 北山町生まれ  
（現在は西原町在住）

府中七小、和光中、都立狛江高校卒業  
1992 米国南アラバマ大学学士号取得  
1998 ミピッツバーグ大学院修士号取得  
1999 府中市議会議員初当選（3期12年）  
2015 府中市議会議員 4期目当選  
現在、市議会「府中リベラル」の代表。  
所属委員会は、議会運営委員会、建設環境常任委員会、再開発対策特別委員会。

### 【編集後記】

今回の市議会定例会は都議会議員選挙と重なり、緊張した1ヶ月間でした。今回の都議選では投票率が10.18%上昇し、より民意が反映された選挙となったことは良かったと思います。

都議選は市政と都政をつなぐため大変重要です。都政の透明化と議会のチェック機能も重要ですが、市への都支出金や府中市に関する都の情報入手するには、都議会議員の存在は欠かせません。

選挙では政局に注目されがちですが、都議会議員の実務的な活動と役割をもっと知ってもらふ必要性を感じました。

## 府中リベラル 市政レポート

府中市議会議員

# 稲津けんご

〒183-8703 東京都府中市宮西町2-24  
【Eメール】 inazu.kengo@gmail.com  
【編集・発行】府中市議会 府中リベラル



～誰も見捨てない地域社会に～

平成29年6月12日～6月28日開催

# 第2回定例会 徹底総括!! 2017年8月号

# ゴミ対策をより分かりやすく市民に伝えよう

6月12日（月）から同28日（水）の会期中、平成29年第2回定例会が開催されました。同14日（水）に行われた一般質問で私、稲津けんごは、「ごみ対策について」と題して質問しました。府中市ではゴミの分別方法が3月1日から変更になり、その理由や経緯、疑問点、効果、周知方法など、様々な視点で議論を行ないました。

また、5月16日（火）・17日（水）には臨時会が行われ、議会運営委員会、建設環境常任委員会、再開発対策特別委員会への所属が決まりましたので、ご報告いたします。



### 【第2回定例会 主な活動】

6月

- 12日（月）本会議（議案の委員会付託等）
- 13日（火）・14日（水）本会議（一般質問）  
・稲津氏は14日（水）に登壇
- 19日（月）議会運営委員会
- 20日（火）建設環境常任委員会
- 22日（木）再開発対策特別委員会
- 28日（水）本会議（委員会審査報告等）

※ 稲津氏が所属していない委員会には全てオブザーバー（傍聴人）として参加。

# 府中リベラル 政務調査費を公開

平成28年度（4月1日～3月31日）の府中リベラル政務活動費を公開します。

主な用途は広報費で、年3回発行した市政レポートの印刷費や郵送料等でした。資料購入費には、政務調査に必要な書籍や購読紙等が10点。研修費は、昨年11月14・15日に横浜・波止場会館で行われた研修参加費です。資料作成費は、府中リベラル議員控室の印刷機のインク代とコピー用紙。広聴費は、昨年10月下旬に武蔵台、西原町、北山町で行われた市政タウンミーティングの会場費等です。事務所費は、議

項目	金額
広報費	395,379円
資料購入費	93,259円
研修費	30,000円
資料作成費	10,164円
広聴費	9,145円
事務所費	2,230円
合計	540,177円

会事務局に設置されている複写機の使用料で223枚分です。



## 一般質問 ゴミ収集方法の変更と周知方法の徹底を

今年の3月1日から府中市のごみの収集方法が変わりました。その変更点は  
 ①汚れが落ちない容器包装プラスチックはオレンジの「燃やさないごみ」→緑の「燃やすごみ」に変更  
 ②「小型充電式電池」及び「充電式電池を取り外せない小型家電(30cm未満)」はオレンジの「燃やさないごみ」→「危険ごみ」として半透明の袋かカゴなどの容器に入れて排出となりました。  
 今回の変更にあたり、その経緯と理由について聞きました。答弁では、「これまで、汚れが落ちない容器包装プラスチックは、リサイクルできるものがほとんどなく、『燃やすごみ』として焼却せざるを得なかった。また、収集や処理過程できれいなものを汚してしまいリサイクルの妨げとなっていた」との事。また「近年、小型充電式電池によるリサイクルプラザの破碎機付近やごみ収集車からの火災が多発した。火災が発生する

と、設備への損傷や人的被害の重大事故に繋がりと、ごみ処理に多大な影響が出る」と説明がありました。  
 では、その変更点の周知がどこまで市民に徹底されているか、また汚れた容器包装プラスチックが安易に『燃えるごみ』として排出され、ごみ減量の趣旨に反する結果につながりかねない等の疑問点を取り上げました。  
 「周知に関しては『府中のごみ』新聞を全戸配布し、説明会も17回行なってきた。燃えるごみの総量は、今までとあまり変わらないので影響はない」と答弁。  
 稲津氏は「ごみ問題は市民一人一人に係わるので、きめ細かな説明会を各自治会で行なう必要がある。循環型社会を目指す上で、汚れた容プラを安易に燃やすごみとして排出しないよう積極的に呼びかけるべき」と強く要望しました。今後の取り組みをしっかりチェックして参ります。

## 一般質問 がん患者が安心して暮らせる社会へ

稲津：昨年12月に「がん対策基本法」の改正法が国会で可決され、がん患者が安心して暮らすことのできる社会への環境整備が盛り込まれました。  
 民間の団体が行うがん患者の支援に関する活動、がん患者の団体が行う情報交換等の活動等の支援について、これまでの取り組みや今後の見通しを教えてください。



異なることから、患者や家族の方が集える場の情報提供や、医療機関との相談窓口と連携しながら充実を図ってまいります。

稲津：府中がんケアを考える会の活動を府中市が後援主体となってバックアップしていることは評価する。一方、医療機関が行っている患者会との連携についてどう考えているか？

答弁：「がん患者と家族で語り合うつどい」を開催している府中がんケアを考える会が講演会を開催する際に、市の広報誌での周知やチラシの配布などを実施しています。  
 今後の見通しでは、がんは、その種類や進行の度合いによって治療法や就労に関する相談内容が

答弁：患者の会は療養生活での不安や悩みの継承につながると認識しています。今後、本市でも情報収集し、安心して療養することが出来るよう、連絡先を集約したパンフレット作成や市ホームページからも情報が得られるよう環境整備を検討します。

## 陳情審査 「共謀罪」の国会上程阻止を国に求める陳情が否決

2月23日の総務委員会で、陳情第4号「共謀罪＝テロ等準備罪を創設する組織犯罪処罰法改正案の国会上程に反対し、この法案を国会に上程しないことを国に求める府中市議会の意見書の採択を求める陳情」について、話し合いが行われました。  
 委員会では、本陳情に賛成、反対の立場で各委員から意見が出され採決の結果、可否同数となり、委員長判断で陳情が否決されました。  
 府中リベラルの稲津憲護は3月7日の本会議で、委員長報告に対する審議の際に「テロリズム自体は断じて許されない事ではあるが、現行の法律でもテロ対策は可能である。また一般市民の生活に及ぼす影響を考慮すると、改めて共謀罪を含めた法改正を行う必要はないと考え、本陳情に賛成す

る」との発言をしました。  
 しかし本会議では、本陳情は委員長報告の通り、否決すべきものと決定されてしまいました。  
 本会議終了後、稲津は「今回の共謀罪に関する陳情は、憲法見直し論が出ている中で、共謀罪を含めた法改正を政府が進める先には、戦時中の治安維持法と同じ状況を生み出してしまう可能性がある。市議会としても暴走する今の政府にくさびを打ち込む必要がある。」と述べました。



## 陳情審査 平日・夜間議会を求める陳情が否決される

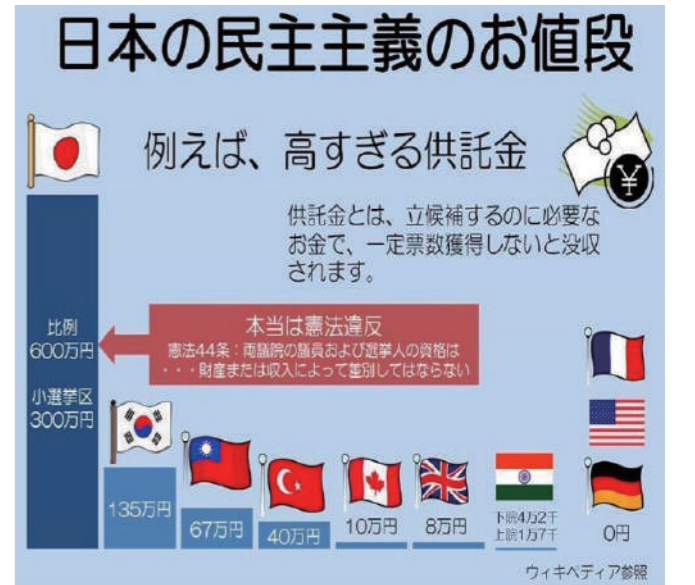
6月19日(月)の議会運営委員会では、「平日夜間議会開催を求める陳情」を審議をしました。  
 陳情を提出した市民から、趣旨として「市議会傍聴者を増やす、市政に対する関心を引き上げる、市長・市議選の投票率を上げる、市民の市政参加を促す」が述べられました。要望事項として「①傍聴者を増やし市政に関心を持つ市民を増やしていただきたい、②夜間議会を開催できるようにしていただきたい、③夜間議会開催に必要な新規則・新条例の制定もしくは規則・条例の改定をしていただきたい」という内容でした。  
 議会運営委員会では私から発言し、「この陳情の趣旨、理由、要望事項についてはもっともな内容であると思う。現在、議会改革検討委員会の中で様々な協議が行なわれているが、今回の案件はまさに議会改革に当てはまる。」

この陳情を否決することは、今後の議会改革の議院内で十分に検討してみる必要があると思うので、継続を主張する。」と述べました。  
 しかし自民や公明などからは、「夜間議会では、対応する職員の負担やコストが高くなる。夜間議会を開催している他市の状況を見ても、夜間だからと言って傍聴者が多くなるとは限らない」という意見が出て、反対を主張。継続審査は否決され、続く賛否を諮ったところ、自公と市民フォーラムの反対により否決されました。



## 陳情審査 選挙供託金の見直しを求める陳情、否決される

6月15日(木)の総務委員会では、「国政・地方選挙における供託金精度の見直しを求める意見書の提出についての陳情」が審議されました。  
 「供託金問題を考える府中市民の会」の代表者が陳情についての補足説明を行い、外国との比較を交えて現在の供託金制度が立候補の自由を阻んでいる現状の話がありました。また日本国憲法第44条に定める「両議院の議員及びその選挙人の資格は、法律でこれを定める。但し、人種、信条、性別、社会的身分、門地、教育、財産又は収入によつて差別してはならない」という条文にも抵触すると指摘されました。  
 委員会では、村崎啓二委員から本陳情の賛成意見が述べられましたが、自民・公明などの反対により、陳情が否決されました。続く28日の本会議で稲津氏は賛成の立場で挙手しましたが、賛成少数により否決されました。



## 再開発対策 府中駅南口のル・シーニュ完成

6月22日(木)に行われた再開発対策特別委員会では、府中駅南口第一地区組合の状況報告について説明がありました。駅前ビルの名称は「ル・シーニュ」で「萌し、予感」を意味し、人と人との出会いのシンボルとなる事を願った名称です。建物内にはレストランやカフェ、ファッション、スーパーマーケット、クリニック等87店舗が入店。また5・6階は市民活動センター「プラッツ」が完成し、市政情報センターや会議室、バルトホール、消費生活相談室、国際交流サロン等も設けられました。  
 報告説明の質疑では、委員から市道と施設敷地の境界部分に段差があり、バリアフリーの観点から問題であるとの指摘がありました。市は、早急に対応策を図るよう取り組むとの答弁があり、報告を了承しました。

